



2学期も今日で終わりです。1学期の反省を踏まえ、満足できる高校生活を送ることができたでしょうか。冬季休業中は冬課題に取り組むことはもちろんのこと、自分の課題を見つけ、より充実した3学期を過ごせるように準備をしましょう。

3学期は、降雪等により通学が大変となることがあると思いますが、安全第一に元気な姿で登校してください。

1 2学期の成績について

1学期と比べて成長した人もいれば、かなり気のゆるみが出てしまった人もいたようです。3学期は1年生のまとめであるとともに、2年生への大事な準備時期でもあります。1年生までの基礎力を基に2年生の学習を積み重ねられるように、必要に応じて4月からの振り返りをしっかりと行いましょう。

<2学期成績一覧> ※下段()は1学期

	現代国語	言語文化	地理総合	歴史総合	数学Ⅰ	数学A	物理基礎	生物基礎
平均点	68.0点 (65.2)	58.8点 (69.5)	63.4点 (68.9)	68.4点 (68.9)	64.8点 (67.7)	62.4点 (67.7)	61.3点 (61.4)	63.9点 (69.2)
	英コミⅠ	論理表現	体育	保健	情報	音楽Ⅰ	美術Ⅰ	書道Ⅰ
平均点	66.3点 (63.2)	66.9点 (61.9)	68.4点 (68.2)	65.9点 (64.5)	64.0点 (71.9)	66.7点 (65.6)	64.5点 (64.7)	65.2点 (66.2)

成績優秀者(平均点80点以上)は、1学期は7名でしたが、2学期は10名に増えました。高校での学習習慣が定着し、授業を大切に課題にコツコツと取り組んでいる人が結果を出しているようです。一方で、成績不振(39点以下)科目がある生徒は1学期では14名(のべ22科目)だったのに対し、2学期は26名(のべ64科目)と大幅に増えています。39点以下の成績不振科目がある人は、その原因が必ずあるはずで、そこを自分でよく考えてください。成績不振者について、成績会議では先生方から次のような指摘がありました。

(1) 課題の提出状況が1学期よりも悪くなった。

(2) 授業中に寝ている。または話を聞き流して自分のこととして受けとめていない。

特に(1)の課題の提出状況が悪くて点数を落としてしまった人が多いようです。課題を出すということは、「約束を守る」ということです。まず、やるべきことをきちんとやるようにしてください。**今回不振科目がある人は、2年生への進級に赤信号がでているということです。危機感をもって冬休みの補習や課題に取り組んでください。**

この冬休みに、もっと多くの時間を学習にあて、2年後の進路決定に向けて取り組んでください。

2 冬季休業中の自習室について

12月25日(月)～28日(木)の4日間、13:00～15:30まで自習室として多目的教室を開放します。都合のつく日の都合のよい時間だけの利用でかまいません。冬課題に取り組む、1・2学期の復習をする、部活動後の電車・バス時間まで友だちと一緒に切磋琢磨、などなど・・・



毎日ではありませんが、国・数・英は先生に質問できる時間帯があります。勉強方法など、日頃悩んでいることや疑問に思っていることなどを聞いてみてください。大いに活用してください。

3 11月総合学力テストの結果について

※ () は7月総合学力テストの結果

	国数英総合	国 語	数 学	英 語
小千谷高校平均点	82.1 点/300 点	33.9 点/100 点	27.1 点/100 点	20.9 点/100 点
全国平均点	106.8 点	43.5 点	30.5 点	32.7 点
小千谷高校偏差値	44.8 (44.7)	43.9 (44.1)	48.3 (49.1)	43.3 (43.3)
偏差値帯の分布	(人数)	(人数)	(人数)	(人数)
6 8 ~	0(0)	1(0)	0(1)	0(0)
5 8 ~ 6 7	4(2)	7(8)	12(19)	3(1)
5 4 ~ 5 7	5(4)	13(13)	15(29)	5(4)
4 8 ~ 5 3	34(51)	30(35)	59(58)	21(27)
4 0 ~ 4 7	126(104)	83(81)	99(81)	119(116)
~ 4 0	22(35)	58(59)	6(28)	44(48)

<過年度の1年11月学力テストとの比較>

数値は偏差値	2021 年度 (現 3 年生)	2022 年度 (現 2 年生)	2023 年度 (現 1 年生)
3 教科総合	46.9	45.9	44.8
国 語	47.1	45.6	43.9
数 学	49.1	49.0	48.3
英 語	45.3	44.1	43.3

<成績分布から>

	7 月	→	1 1 月
◎国語 偏差値 5 8 以上	8 人	→	8 人 (± 0)
5 4 以上	1 3 人	→	1 3 人 (± 0)
4 8 以上	3 5 人	→	3 0 人 (− 5)
◎数学 偏差値 5 8 以上	2 0 人	→	1 2 人 (− 8)
5 4 以上	2 9 人	→	2 5 人 (− 4)
4 8 以上	5 8 人	→	5 9 人 (+ 1)
◎英語 偏差値 5 8 以上	1 人	→	3 人 (+ 2)
5 4 以上	4 人	→	5 人 (+ 1)
4 8 以上	2 7 人	→	2 1 人 (− 6)

今回は1月13日(土)です。3年生は「大学入学共通テスト」を受験する日です。皆さんの多くは2年後に受験しますが、まず今回のテストに向けてしっかりと準備をし、自分の立ち位置(全国偏差値)を確認しましょう。

以下に、「8の壁」について書きます。11月の結果を基に、どのような学習が必要なのか参考にしてください。

第一の壁：偏差値48の「壁」 「習得型学習」

この壁を越えると中堅私立大や、地方国公立大クラスへの合格が視野に入ってきます。この壁を越えるためには、「宿題を確実にこなす」「先生の話をもとにノートを取れる」などが重要です。

「宿題を確実にこなす」ことは、強制されている感じがするかもしれませんが、これを避けていては第一の壁は越えられません。

「ノートが取れる」ということは、単に板書を書き写すのではなく、先生が話していることを背景知識と重ね合わせて「意味理解」できるということです。

第二の壁：偏差値58の「壁」 「習得型学習」＋「学習方略」

この壁は、ブロック大（新潟・金沢・千葉・横浜国立・筑波・岡山・広島・熊本・東京都立・大阪公立大学）やMARCH・関関同立クラスの私立大などへの合格が見えてくるレベルです。この壁を越えるには「習得型学習」に「学習方略」重視の学習方法を加えることが必要です。「数学や物理などで問題解法のパターンが使える」、「数学は復習、古典・英語は予習に力点を置く」など、普遍性の高い学習方法にシフトしていくことが求められます。

もう一つ大事なことは、「知識の体系化」を行うことです。人間は個々の知識をつなぎ合わせて体系的に思考しますが、そうした思考力を鍛えることで、個々の事象を関連付けて「知識」を使えるレベルに高めることができるようになります。

第三の壁：偏差値68の「壁」 「習得型学習」＋「学習方略」＋「仮説検証」

第三の壁を越えると最難関私大や旧帝大が視野に入ってきます。このレベルにおいては方略重視から「**仮説検証型の学習**」への移行が重要となります。仮説検証とは、自分で仮説を立ててそれを検証する学習ができるようになるということ、つまり「**自問自答型の学習**」をすることです。例えば、数学の問題がなかなか解けないときに、今使っている定理とは別の定理が有効であることに気付くことがあるでしょう。そのためには背景知識が必要で、第二の壁で見たように知識の断片を体系化し相互に関連付けて考え、取り出す訓練が必要になります。本質的な考え方を学べば応用力が育まれます。

4 「おぢやしごと未来塾」に参加しました

12月8日（金）に小千谷市総合体育館で開催された「おぢやしごと未来塾」に参加しました。全員が市内企業の中から3社の説明を聞きました。日常生活では触れる機会が少ない仕事内容について丁寧に話していただき、仕事に対する新たな気づきがあったことでしょうか。今後の進路決定に少しでも活かしてほしいものです。



<保護者の皆様へ>

今年もあと一週間余りとなりました。4月に体育館で行われた入学式での初々しいお子様の姿がつい昨日のように思い出されます。4月にサンプラザで行った新入生オリエンテーションに始まり、部活動や授業、体育祭、舟陵祭、フォトロゲイニング（市内散策）、新潟大学見学、大学分野別説明会、いのち・愛・人権 小千谷展など、さまざまな活動を通して初々しい顔から高校生の顔になっていくお子様の成長した姿を見ることができました。

明日から冬休みに入ります。是非、お子様に家の手伝いをたくさんさせてください。そして、今年一年間を振り返り、来年がんばりたいことや今後の進路について話をしてください。来年、お子様がさらに飛躍できることを期待しています。よいお年をお迎えください。

- ① 「冬季休業中の生徒心得」をお子様と一緒に読んでください。
- ② 冬季休業中に問題や事故などがあった場合は下記にご連絡ください。
学校：0258-83-2262（代表）
教頭：080-8760-2990（12/29（金）～1/3（水）の学校閉鎖期間）

<今後の主な予定>

- 12月29日（木）～1月3日（火）学校閉鎖
- 1月 9日（火）始業式・大清掃・服装頭髪検査（※身だしなみを整える）
課題テスト（国・数・英）
- 13日（土）総合学力テスト（昼食持参）…全員受験

